



令和3年度 地域発 元気づくり支援金【北信地域】 32事業が内定しました。

「地域発 元気づくり支援金交付要綱」に基づき、北信地域事業選定会議の構成員による意見聴取を経て下記のとおり内定しました。

- 当地域の要望状況は、33団体、36事業で、要望額の合計は、7,438万5千円でした。
- 内示額の合計5,647万2千円は、当地域への配分額(予算額)5,819万7千円を下回りました。
- 2次募集は現在予定していませんが、実施する場合は別途お知らせします。

1 事業区分別の選定状況

(単位:千円)

事業区分	選 定 状 況		
	件数	支援額	事業例
1 地域協働の推進	4	10,807	手づくり農村支援事業、協働のむらづくり事業
2 保健、医療、福祉の充実	1	1,577	医療機関、社会福祉施設等外出困難者向けの作品パネル無料貸出事業
3 教育、文化の振興	2	2,777	楽しみのある地域づくりⅡ
4 安全・安心な地域づくり	1	3,357	雪国でも安心して生活できる克雪集落づくり事業
5 環境保全・景観形成	2	2,094	安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジ・ゼロカーボン推進事業
6 産業振興、雇用拡大 (小計)	16	31,343	
(1) 特色ある観光地づくり	6	13,218	信越自然郷“ふるさとサイクリング”プロジェクト、志賀高原ヒルクライム
(2) 農業の振興と農山村づくり	5	8,558	さらなる良質米産地を目指してジャンプ～木島平米PR推進事業
(3) 森林づくりと林業の振興	0	0	
(4) 商業の振興	2	5,287	ポイントカードを地域通貨に！新・ゆーゆーカードでふるさと活性化！
(5) その他	3	4,280	飯山仏壇「思い出供養・命の器」プロモーション展開事業
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	6	4,517	北原区くすみ祭り開催によるマルシェ持続化事業
合 計	32	56,472	

【再掲】県全域及び地域で重点的に推進するテーマに関する事業分

(単位:千円)

重点テーマ区分	件数	支援額	事業例
2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	2	2,094	2050きじまだいらゼロカーボン戦略
地域防災力の向上	0	0	
若者のUIターン就業の促進	4	5,357	コロナに負けない移住定住推進PR事業
子育ての支援や地域の歴史・文化・産業等の学びの推進	2	958	楽しみのある地域づくりⅡ
若者定着のための就業支援・産業創出	2	2,570	クロモジで元気な地域づくり
一人多役等ライフスタイルの発信と移住・交流・まち(むら)づくり	0	0	
雪対策と利雪の推進	2	3,958	雪エネルギー推進事業
医療・公共交通等の生活基盤の整備	0	0	
通年型の広域観光の推進	6	12,679	信越トレイル延伸に伴う広域観光推進事業
農産物の生産・販売強化と魅力の発信	7	10,184	さらなる良質米産地を目指してジャンプ～木島平米PR推進事業
合 計	25	37,800	

2 申請者区分別の選定状況

(単位:千円)

申請者区分	件数	支援額
市町村	8	15,510
広域連合等	0	0
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	24	40,962
合 計	32	56,472

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

北信地域振興局 企画振興課
 (課長) 北澤 良和 (担当) 武田 英昭
 電 話 0269-23-0201 (直通)
 F A X 0269-23-0256
 E-mail hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和3年度「地域発 元気づくり支援金」【北信地域】選定事業 一覧表

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	事業費 (単位:千円)			重点テーマ 区分
					総事業費	支援金 要望額	支援金 内定額	
1	その他地域の 元気を生み出 す地域づくり	中野市の郷土 の魅力発掘・ 発信に資する 事業	公益社団法人 中野青年会議 所	地域の継続的な発展、若者のUIJターンの増加に向け、地域の魅力を発信していくための快活策を、地域の高校生、地域外進学者、事業者、市役所職員に加え、関係人口候補となりうる地域外の人材等多様な視点で、全4回のプロジェクトを通じて探る。 また、プロジェクトを通じ地域内外の人脈を得ることで郷土愛を深める。 ①全4回(地域課題テーマの抽出検討会、地域プロジェクト発掘アイデアソン、移住・関係人口パネルディスカッション、プロジェクト報告会)のイベント等費用(1,168)	1,169	919	919	若者のUIJ ターン就業促 進
2	その他地域の 元気を生み出 す地域づくり	女性の多様な 働き方支援の ためのシェア ・コワーキン グスペース 構築事業	女神らいふ	子育て中の女性の多様な働き方支援のためのシェア・コワーキングスペースを整備するとともに、副業・小商い支援セミナーやマルシェを開催する。 また、団体の活動を紹介するHP・リーフレットの制作しPRを行う。 ①HP・リーフレット等制作費用(622) ②シェア・コワーキングスペース改修費用(4,829)	5,453	4,120	498	子育て支援、 学びの推進
3	その他地域の 元気を生み出 す地域づくり	サケフェチプ レゼンツ 地域 の魅力満 載!!信州ソ ウルテイクア ウト2021	Sakefeti(サケ フェチ)	岳南地域の飲食店、酒販店、酒蔵の若手経営者で組織するSakefeti(サケフェチ)が、ゲスト飲食店とともに、北信地域の魅力的な食材を活かした創作料理と地酒のテイクアウトを実施する。 6月～1月までの8か月に計16回実施し、創作料理は、毎回3店舗のゲスト飲食店を入れて販売する。 ①サケフェチテイクアウト費用(広告宣伝、容器、リーフレット等)(5,892)	5,893	664	664	農産物生産・ 販売強化
4	農業の振興と 農山村づくり	信州中野きの こ産業の歴史 と未来事業	一般社団法人 日本きのこマ イスター協会	R1年度、R2年度は、きのこ産業の歴史について、企画展を実施したが、R3年度は「きのこの未来を考える」をテーマに企画展を実施する。また親子料理教室、工場見学、収穫体験、栽培チャレンジ等のワークショップを実施し、すべての回(全3回)に参加した子どもには「キッズきのこマイスター」として認定する。 10月には、きのこまつり、きのこ観察会を実施し、ミニ講演会や親子レクレーションを行う。 ①企画展開催費用(展示パネル、リーフレット作成等)(1,792)、ワークショップ、イベント等(1,345)	3,138	2,500	2,500	農産物生産・ 販売強化
5	地域協働の推 進	手づくり農村 支援事業	中野市	農村地域における高齢化や後継者不足による農作業等の負担軽減と効率化を図るため、地域の協働活動による農道・水路の補修・整備の直接施工や維持管理活動に必要な材料支給や重機の提供等の支援を行う。 ②農道舗装6地区(3,934)、水路改修10地区(6,003)	9,937	4,968	4,968	
6	教育、文化の 振興	地元間伐材と 古材を利用し た活動拠点の 整備を通じた 林業・環境、 建築、防災に 関する課題解 決と教育プロ グラムの構築	特定非営利活 動法人フォレ スト工房もく り	木材価格の低迷や担い手不足などにより、人工林を含め森林の管理は多くの課題を抱えている。現在、森林との関係性は希薄になり、森林・林業及び国産木材の現状やプロセスを知る機会がほとんどない。 このため、森林・林業等に関する様々な課題を解決するために、信州大学と連携して、森林の大切さ、伐木・造材・木材加工の基本スキルの習得から間伐材等を活用した活動拠点の整備までの教育プログラムを実施する。 ①森に関する講義費用(講師謝金等)、伐木・造材・木材加工の基本スキルの習得と作業体験費用(工具代、チラシ作成費用等)(1,495) ②間伐材と古材を活用した活動拠点の整備費用(丸太代、製材、基礎工事、設計・管理)(1,494)	2,991	2,317	2,317	若者のUIJ ターン就業促 進
7	その他(産業 の振興及び雇 用の拡大)	飯山仏壇「思 い出供養・命 の器」プロ モーション展 開事業	飯山仏壇事業 協同組合	国指定の伝統的工芸品である飯山仏壇は、ライフスタイルの変化などにより市場が縮小し、厳しい状況が続いている。R1年度から飯山仏壇の新たな価値を「思い出の門」としてPR活動を行い、R2年度は、元気づくり支援金を活用して、新商品として故人の思い出を供養する器「命の器」を開発した。 R3年度は「命の器」の商品化、販売、併せて地域住民を巻き込んだ映像を制作し商品の情報発信を行う。 ①イベント・記者会見等運営費(490)、新聞・雑誌広告費(1,168)、ポスター・リーフレット等制作(530)、映像・HP・PPT等制作費(2,673)、サンプル制作費(143)、消耗品費(55) ②商品製作機械購入費(891)	5,951	4,715	2,251	若者就業支 援、産業創出
8	その他地域の 元気を生み出 す地域づくり	雪エネルギー 推進事業	飯山市	飯山市では雪の利活用を検討するため民間事業者等と雪エネルギー検討会議を立ち上げ、市所有の雪室に酒やそば、野菜を貯蔵し、味や食感変化の実証実験や雪室商品の開発を行い、併せて首都圏でのPR等ブランド化を推進してきた。 R3年度は、いいやま雪室関連商品の統一のブランディングを行う。また銀座NAGANOでの雪室商品PRを含めたセミナーの開催や「真夏のいいやま雪まつり」にて、雪室の体験ツアーを実施する。 ①雪室ブランディング委託料(385)、商品管理用消耗品(309)、首都圏PR旅費(57)	752	601	601	雪対策と利雪
9	安全・安心な 地域づくり	雪国でも安心 して生活でき る克雪集落づ くり事業	藤沢区	R1年度から3か年計画で、長年の課題であった集落内の機械除雪ができない狭小道路を自然流水で消雪するための設備の施工、水路改修、排雪用タネの整備を行い、集落全体での効果的な除雪を目指している。 R3年度は、流説道路(R1年度施行)の一部に横断排雪水路を設置するほか、2箇所(既存水路)を改修する。 ②横断水路(原材料等)(1,012)、水路改修 原材料等(4,477)	5,489	4,116	3,357	雪対策と利雪
10	特色ある観光 地づくり	誰でも気軽に グラベルロード を走ろう! グラベルサイ クル体験にお けるe-MTB レンタル事業	斑尾高原観光 協会	斑尾高原は、観光庁がR2年度から開始した、「国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業」に認定され、地域で国際競争力の高いスノーリゾートを形成する取組が進められているが、通年を通しての観光客誘客に課題が残っており、新たな観光コンテンツの造成が必要である。 斑尾高原山岳地帯の起伏があるコースを楽しむことができるグラベルサイクリング用のe-MTBを10台購入し、レンタル事業を行い、グリーンシーズンの誘客を推進する。 ②e-MTB購入費用(4,698)	4,699	3,523	2,167	通年型広域観 光
11	特色ある観光 地づくり	信越トレイル 延伸に伴う広 域観光推進事 業	NPO法人信 越トレイルク ラブ	信越トレイルはH30年に全線開通10周年を迎え、R3年には苗場山まで延伸されることから、コロナ収束を見据えた信越トレイルの魅力発信として、英語版のパンフレットと公式HPのリニューアルを行う。また、延伸に伴うトレイル全線踏破者向けに記念グッズを製作する。延伸記念シンポジウムでは、国内外のロングトレイル精通者を招聘して記念講演を行い、シンポジウム参加者向けの延伸区間を歩く記念トレッキングを実施する。 ①英語版HPリニューアル(1,496)、英語版パンフレット制作(385)、トレイル全線踏破記念グッズ制作(334)、全線開通イベント費用(910)	3,127	2,501	2,501	通年型広域観 光

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	事業費 (単位:千円)			重点テーマ区分
					総事業費	支援金要望額	支援金内定額	
12	特色ある観光地づくり	信越自然郷“ふるさとサイクリング”プロジェクト	一般社団法人信州いいやま観光局	信越自然郷アクティビティセンターでは広域エリアでのサイクルツーリズムの取組として地域内にサイクルステーションの設置やコース整備等ハード面を充実させ環境整備を進めてきたが、グリーン期の誘客が未だ課題である。 H30年度には事業者等で構成されるワーキンググループを立ち上げ、R1年度から支援金を活用してE-BIKEを導入し幅広いユーザー層に訴求してきた。 R3年度も引き続き、E-BIKEのリースのほか、SNSやサイクル専門媒体を活用した情報発信を行う。 ①E-BIKEリース10台分(1,143)、SNSキャンペーン(475)、サイクル専門媒体PR(1,510)	3,129	2,462	2,462	通年型広域観光
13	農業の振興と農山村づくり	伝統野菜(坂井芋)生産・販売量アップ事業	木島里芋研究会	飯山市木島地区の4集落(坂井・野坂田・下木島・天神堂)エリアでしか栽培できない坂井芋(里芋)は、県内外の市場や販売先の評価が高い伝統野菜となっている。しかし高齢化による生産者数と栽培面積の減少、近年の極端な干ばつにより出荷数量が激減している。 里芋は乾燥に弱い作物のため、定期的にかん水が必須となっている。設備の無い生産圃場への突き井戸設置とポンプ・配管ホースを導入し安定した生産量を確保するとともに、知名度が低い坂井芋を広範囲にPRするため、坂井芋を紹介するパンフレットを作成する。 ①パンフレット制作費(225) ②突き井戸工事・ポンプ・ホース等配管設備費(2,680)	2,905	2,190	2,061	農産物生産・販売強化
14	その他地域の元気を生み出す地域づくり	北原区くるみ祭り開催によるマルシェ持続化事業	北原区	H20年度にオーナー制度を活用して、北原区内の遊休農地にくるみの苗を植え、育成作業を行ってきた結果、H28年度には一部の木で収穫ができるようになった。 H29年度から道の駅「花の駅・千曲川」で販売を進めてきたが、知名度が低く販売量は増えないため、コミュニティビジネスの域から脱していない。 そこで、R3年度は秋に収穫したくるみを区内で販売する「北原区くるみ祭り」を開催し、知名度の向上と販売量の増加を図る。 ①北原区くるみ祭り開催費用(備品購入、リーフレット、ポスター等)(446) ②会場整備費用(生コン舗装資材)(807)	1,254	962	962	農産物生産・販売強化
15	保健、医療、福祉の充実	医療機関、社会福祉施設等外出困難者向けの作品パネル無料貸出事業	一般社団法人信州いいやま観光局(高橋まゆみ人形館)	医療機関、社会福祉施設等外出困難者向けに、認知症、うつ症状改善効果があるとされる高橋まゆみ氏の人形の世界を映したパネルを無料で貸出し、コロナ終息後に、人々の心を癒す効果が高い高橋まゆみ氏の人形の世界を体験できる高橋まゆみ人形館及び北信地域への誘客を促す。 ①作品パネル無料貸出事業費(パネル・リーフレット制作費、輸送費等)(2,387)	2,388	1,790	1,577	
16	地域協働の推進	協働のむらづくり事業	飯山市	住民と市が協働して農林業用施設を整備することにより、事業費を圧縮、施設の維持管理作業を軽減し、農林業生産の効率を高める。また、協働作業を通じて住民同士の交流、施設管理意識の向上を図る。 事業実施予定32箇所、うち支援金対象:農林道舗装等12箇所、水路改修18箇所、林道舗装2箇所 ②原材料購入費(6,640)	6,640	3,917	3,917	
17	特色ある観光地づくり	山ノ内町で観光地インターンシップを活用したU・I・Jターン就職支援事業	一般社団法人観光教育・インターンシップセンター	湯田中渋温泉郷、志賀高原という大観光地を抱える山ノ内町では観光業に従事する人材が不足している。期間従業員等の派遣で対応している事業者が多いが、長期的視点で考えると、地域を愛し事業者の将来を考えることができる中核人材を育成する必要がある。 この課題を解決するため、観光業を学ぶ大学と連携してインターンシップを実施する。 ①インターンシップ費用(講師謝礼・交通費・旅費等)(932)、会場費(100)、学生アクティビティ費(528)	1,560	1,248	1,248	若者のU・I・Jターン就業促進
18	特色ある観光地づくり	ONSEN・ガストロノミーウォーキングinスノーモンキータウン事業	スノーモンキーONSEN・ガストロノミーウォーキング実行委員会	開湯1,300年余の歴史を誇る湯田中渋温泉郷をはじめとした温泉地の魅力、郷土料理や地酒、地域住民との触れ合いなどをテーマにしたウォーキングイベントを実施し、観光客の増加を図る。また、信越自然郷と連携した食材提供を行うことで、北信地域の「温泉」と「食」をPRするとともに、県内におけるONSEN・ガストロノミーツーリズムの浸透を図る。 ①イベント運営費(2,817)、チラシ、番組告知等PR経費(990)、スタッフ経費(495)、イベント認定経費等事務費(397)	4,700	1,910	1,910	通年型広域観光
19	特色ある観光地づくり	志賀高原ヒルクライム	志賀高原ヒルクライム実行委員会	志賀高原を縦断する国道292号は、標高約500mの湯田中渋温泉郷と標高2200mを超す波峠を結び、日本国道最高地点を有する国内有数の山岳道路である。 旅行者のニーズが多様化する中、自転車を活用した自然に負担をかけない旅行形態が求められており、コロナ禍における自然を活用した旅行商品を作成する必要がある。 国立公園内の自然に負担をかけないサイクルツーリズムの振興を図るため、志賀高原ヒルクライムイベントを開催する。 ①イベント運営費(ステージ、テント、ゴールゲート等)(1235)、通行規制に伴う備品費、周知費等(交通案内看板、テレビ告知、新聞折込費等)(1,251)、その他(スタッフウエア、仮設トイレ、バイクラック、無線機等)(1,413)	3,900	2,930	2,930	通年型広域観光
20	農業の振興と農山村づくり	須賀川そばの増産と遊休農地対策事業	北志賀レインボー倶楽部	須賀川地区の営農団体として、現在(R2年度)、須賀川そばを6.76ha栽培し3.9tを収穫し、地元そば店、そば祭り等イベント、道の駅や町内ホテルを中心に出荷するとともに、ふるさと納税の返礼品に選ばれるなど需要が増えている。 一方で、農家の高齢化や農業後継者が減少しており将来の担い手不足や遊休農地の拡大が危惧されている。 このような課題を解決するために、トラクターを購入し、生産稼働率を上げるとともに、新たに若い会員の募集を行うことで組織・事業継続とSNS・ネットを通じた販売強化を行う。 ②トラクター購入費用(1,408)	1,408	1,056	1,056	農産物生産・販売強化
21	地域協働の推進	地域協働で農業に活力を与えるための施設整備(農業用水路縞鋼板蓋の設置、農道舗装)	山ノ内町	高齢化等により農業経営の先行きが不安定な中、地域住民が協働で農道等の整備を行うことにより地域のつながりを深め、農業に活力を与え、農村全体が元気になる。 ②農業用水路縞鋼板蓋設置1地区 原材料費(924)、農道舗装2箇所 原材料費(2090)、広報表示費(46)	3,061	1,530	1,530	
22	環境保全、景観形成	2050きじまだいらゼロカーボン戦略	木島平村	村民との協働による循環型社会の構築と地球環境の保全、家庭や企業から出る二酸化炭素などの温暖化ガスの排出低減に向けた取組を進める必要がある。 そのため、村民とともにワークショップ形式による学習会を行い、将来に向けた環境保全活動を考え、村一丸となって実践することで2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す。 ①ゼロカーボン講演会費用(講師謝金等)(30)ワークショップ費用(アドバイザー謝金)(320)地域学習会費用(講師謝金)(60)、リーフレット制作費用(50)	461	368	368	2050ゼロカーボン

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	事業費 (単位:千円)			重点テーマ区分
					総事業費	支援金要望額	支援金内定額	
23	環境保全、景観形成	安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジ・ゼロカーボン推進事業	特定非営利活動法人太陽と水と緑のプロジェクト	道の駅にラミネーターを設置し、ワークショップで村民がソーラーパネルを作成する。緊急時に対応可能な稼働式ミニマム緊急対応装置を村内5集会場に設置、超小水力発電機の設置、村内とカヤの平キャンプ場に小水力発電機の設置、小太陽発電を活用した多機能電気柵を村内に設置する。学習会・ワークショップにより、自然エネルギーへの村民意識の高揚を図る。 ①超小水力発電設置2台(198)、小型ソーラーパネル50台(484)、多機能電気柵10台(330)、講師謝金等ワークショップ経費(260) ②ラミネーター設置(1,298) 移動式ミニマム緊急対応装置(990)	3,560	2,733	1,726	2050ゼロカーボン
24	その他地域の元気を生み出す地域づくり	コロナに負けない移住定住推進PR事業	木島平村移住定住促進協議会	新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発出や、多様な働き方の推奨など新しい生活様式の波及により地方移住への機運が高まっている。田舎暮らし情報誌等で全国上位にランキングされるなど、木島平村が持つ魅力や移住推進施策等により、移住先として注目されている。しかし、コロナ禍による移動制限や自粛等により、移住セミナー等へのイベント参加や開催など積極的なPRが行えていない。この課題に対応するため、非接触型で移住情報を発信するツールとして田舎暮らしをイメージできるPR動画を作成し、インターネットやSNSなどを活用してPRを行う。 ①PR動画制作費用(1,061)、事務消耗品費(30)	1,092	873	873	若者のU・I・Jターン就業促進
25	農業の振興と農山村づくり	信州そばが繋ぐむらとまち木島平元気そば事業	一般社団法人木島平村農業振興公社	木島平村農業振興公社では、そばの生産販売による荒廃地対策を進めており、R2年度現在25ha以上で作付けしているが、面積拡大とともに販路拡大も重要な課題となっている。R3年度は、姉妹都市である東京調布市の調布そば打ちクラブや深大寺そば組合、深大寺そばクラブの協力を得て、木島平産そば粉をPRし、販路拡大を目指す。 ①深大寺や調布市内の村アンテナショップでのPR経費(502)、深大寺そば組合加盟店等との村内交流事業(131)、深大寺そば組合加盟店での木島平そばデー実施に係る資材運搬費(26)	660	527	527	農産物生産・販売強化
26	農業の振興と農山村づくり	さらなる良質米産地を目指してジャンプ～木島平米PR推進事業～	木島平村	村の農産物生産額の3割を占める水稲は、木島平米として米・食味分析鑑定コンクール国際大会で13年連続入賞するなど優良米産地として全国的にも認知され始めている。R3年度に同コンクールの国際総合部門で金賞を受賞すると、全国で2例目となる「WRA(WORLD RICE AWARDS) GOLD 10」の受賞対象となるため、金賞受賞を目指し、先進地視察を行い、受賞した場合は、村内外にPRし、さらなるブランド化を図る。 ①先進地視察経費(30)、コンクール参加経費(30)、PR活動経費(708)、PR動画制作費(2,090) 商談会参加経費(160)	3,019	2,414	2,414	農産物生産・販売強化
27	商業の振興	ポイントカードを地域通貨に！新・ゆーカードでふるさと活性化！	野沢温泉スタンプ会	村内の商工業者40店が加盟する野沢温泉スタンプ会では、落ち込んだ村内消費を取り戻し、地域経済の活性化を図るために、ポイントを地域通貨としても活用できる新たなポイントシステムを導入する。なお、この地域通貨は、村税及び下水道料金の支払にも活用できる。 ①タブレット端末費45台(加盟店40台、本部1台、イベント用1台、役場1台、JAながの1台)(4,445)、ポイントカード作成費・製版費(5,000枚)(962)、端末ソフト初期導入費用(533) ②本部管理システム費(770)	6,712	4,968	4,968	
28	地域協働の推進	手づくり林道舗装等事業	野沢温泉村	農地・林地の荒廃を防ぐため、地元住民が互いに協力し必要な林道舗装等を行い、農作業の効率化と生産意欲の向上、林業振興を図る。 ②原材料費支給 林道2か所(589)	590	392	392	
29	教育、文化の振興	楽しみのある地域づくりII	ふれあい会	栄村には、さるぼぼなどの伝統工芸、あんぼなどの郷土料理があるが、人口減少や少子化により、若い世代がこの地域に適応した技術や知恵に触れる機会が減ってきている。そこで、技術や知恵を持つ団体が、主に子育て世代を対象に子ども用のちゃんちゃんこや半纏づくり、簡単にできる郷土料理講習会を開催することで若い世代でも伝統に親しみやすい環境をつくり、次の世代へ継承していく。 ①郷土料理教室使用調理器具等(302) ②IH調理器(140)、スチームオーブン(151)	595	460	460	子育て支援、学びの推進
30	商業の振興	クロモジで元気な地域づくり	小赤沢活性化倶楽部	少子高齢化率が著しい、栄村秋山地区の新たな地域内雇用を創出するため、同地区に多く自生する「クロモジ」を活用して、商品の製造販売を行う。また、クロモジのアロマ作り体験など、観光振興を目的としたプログラムを創り、秋山地域のPR及び同地域内の宿泊業の振興を図る。 ①精油採取装置に係る消耗品費等(ペール缶タイプ及びドラム缶タイプ)(180)、その他消耗品(包装容器等)(37) ②備品購入費(チッパー・シュレッダー)(307)、施設利用費(80)	605	319	319	若者就業支援、産業創出
31	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	森宮野原駅周辺環境整備事業	栄村秋山郷観光協会	R2年度は駅から道の駅に続く千曲川遊歩道を整備し、村の新たな観光資源とした。また、長野大学と協働して駅前周辺店舗のシャッター10箇所を絵を描いてもらいSNS等で発信した。さらに主要な観光スポットである秋山郷天池に周辺の案内看板を設置した。R3年度も引き続き、駅前周辺の花壇、遊歩道整備、長野大学と連携した商店街シャッターアートの取組、レンタサイクルの推進を行う。 ①森宮野原駅周辺花壇整備(151)、千曲川遊歩道の整備(395)、駅前シャッターアート消耗品(82)、学生交通費・滞在費補助(135)、コンテナリース(112)、レンタサイクルフリーフレット(68)	946	709	709	通年型広域観光
32	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	農地等国土保全事業	栄村	農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び排水路等について、村が原材料等を支給する。 ②原材料支給 農道舗装4等箇所、水路等改修8箇所(2,329)	2,330	1,320	1,320	
北信地域振興局 計				32事業	100,114	66,022	56,472	